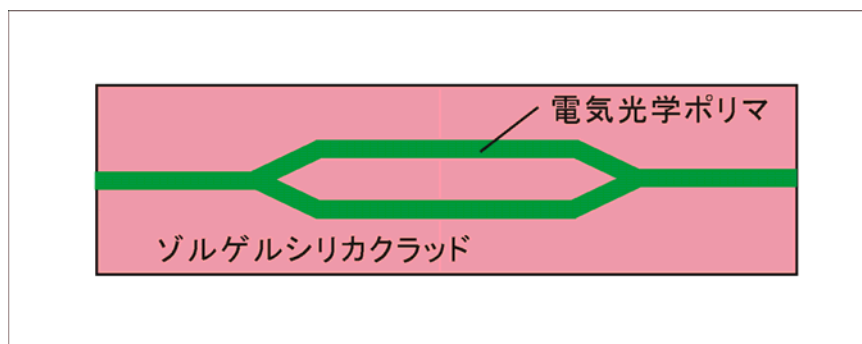
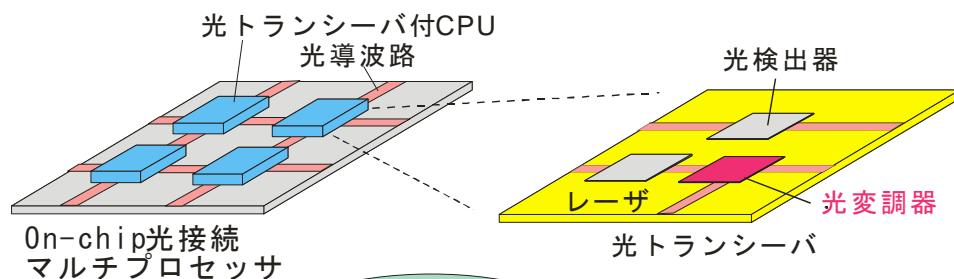


「有機物による200GHz超広帯域マツハツェンダ型光強度変調器の研究開発」
研究代表者:榎波康文(高知工科大学)、参画研究機関名:米国ワシントン大学
研究開発期間:平成29年度～平成30年度

研究目的 :コア系ネットワーク構築のために必要な400Gbps通信用有機物を用いた**200GHz超広帯域光変調器**の研究開発

超大容量の情報を安定的かつシームレスにつなぐ超広帯域光強度変調器



>130GHz超高速ポリマ光変調器

研究開発の概要

1. **光接続用光変調器**の超高速化、低消費電力化、低コスト化
2. 需要の拡大が予測される56Gbpsから400Gbpsへ向けた**光トランシーバ**や**光トランシーバの試験装置用**の200GHz超広帯域光変調器を実証
3. 超高速光変調器でしかなしえないフォトリソクス基礎研究への展開

研究成果の社会的意義

1. データセンターの**サーバ高速化**、**低消費電力化**、**信頼性向上**、**車載用光デバイス**の実現、**光ワイヤレス通信**の実現
2. **超広帯域ICT技術**への展開
3. **400Gbps光通信**の実現